

デジタル社会共創学環

◎ デジタル社会共創学環の3つの方針

《デジタル社会共創学環がめざす人間像》

「あすなろう」の精神を基盤にして、持続可能な社会を目指して、地域の自然や文化を愛し、人類文化・思想の多様性を受け入れ、豊かなコミュニケーション能力を持つ教養人であるとともに、専門的知識・技能を駆使して、グローバル化、デジタル化、高齢化・人口減少社会等によってもたらされた新しい課題の解決に向けて挑戦する心を持ち、地域生活を支援し、創造することができる人間

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

大学設置基準に基づき、本学が定める履修要件に沿って125単位以上を修得し、そのGPA値が原則2.0以上であって、以下の観点別能力を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与する。

- ・ダイバーシティに富んだ社会にあって、自らをコントロールし、他の人たちとも協働して主体的に学び、新しい課題に挑戦することができる。（人間力）
 - ・情報の収集や分析の結果を、IT等を用いて的確に表現し、課題解決に向けた展望を具体的に示すことができる。（企画・提案力）
 - ・深い人間理解と的確な社会理解をもとに、多様な価値を認め、共に生活する中で社会の発展に貢献することができる。（共生力）
 - ・留学やインターンシップ等の経験で培ったグローバルな視野での探究をもとに、地域の発展に向けた課題解決に貢献することができる。（地域支援・創造力）
- I 【主体的・自立的に行動できる確かな人間力】（態度・志向性）
- 1) 自ら進んで他の人と協働することができる。
 - 2) 主体的に授業に参加し、自己の向上を図っている。
 - 3) 積極的に新しい課題に挑戦することができる。
- II 【専門職業人としての汎用的能力】（技能・表現）
- 1) 課題解決に向けた情報の収集と分析ができる。
 - 2) ITはもちろんのこと様々な手段で表現伝達できる。
 - 3) 考察を含めて結論を積極的に提案できる。
- III 【教養ある専門職業人としての基礎力】（知識・理解）
- 1) 専門分野の系統的な知識・技能を獲得している。
 - 2) 社会を客観的に理解し、自己の位置づけができる。
 - 3) 多様な人々の存在の大切さが分かり、共生を進めている。
- IV 【地域生活を支援し、創造する力】（行動・経験・創造的思考力）
- 1) ボランティア活動に積極的に参加できる。
 - 2) インターンシップに積極的に参加し、自己を磨ける。
 - 3) 地域活動に積極的に参加し、課題の発見ができる。

教育課程方針（カリキュラム・ポリシー）

本学環のディプロマ・ポリシーを達成するために必要な授業科目を開設し、ディプロマ・ポリシーで掲げられた資質・能力の修得に有効な形で授業科目を配置したカリキュラムを構築する。

- ① 人と人を繋ぐコミュニケーション力育成のために心理学と社会学を基盤にしたカリキュラム編成を行う。
- ② 課題解決力の着実な獲得のためにPBLや演習の科目を1年次から開設する。
- ③ IT活用力の育成にあたっては実務家教員を登用し、社会での実践に備える。
- ④ 英語キャンプや留学を効果的に組み込み、英語能力の向上を図る。
- ⑤ 各授業ではアクティブラーニングを採用し、学生の主体的な学修を促す。
- ⑥ 学生がそれぞれの能力の伸長を計画的に行えるように、必修科目と選択科目を指定し、各学年に配置する
- ⑦ 学生が自己の成長を感じるとともに不足を補う際の支援となる適切な評価を行う。

入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー）

デジタル社会共創学環では、ダイバーシティに富む未来社会が求めるリアルとバーチャルを調和させるIT活用力や人と人を繋ぐ高いコミュニケーション力を身に付けたいと強く希望し、次の事項を充たす人物の入学を許可する。

- ① 高等学校の授業を履修し、求められている知識・技能を獲得していること。
- ② 高等学校段階で身に付けるべき思考力・判断力を備え、意見等を適切に表現することができること。
- ③ 自己の向上に真摯に取り組むとともに、他の人たちと協働できる人間力を備えていること。

本学では、社会人として必要とされる幅広い教養及び豊かな人間性を養うために、共通教育科目を配置しています。